

はんじ康信の 県政報告

Vol.2

発行元／判治康信事務所
発行日／令和6年1月

はんじ康信の活動を分かりやすくお伝えいたします。

- ◎ごあいさつ、災害は自助・共助・公助
- ◎一般質問 ① ② ③、県外視察報告
- ◎知ってほしい私たちの現在の岐阜県

課題解決に向け毎日が学びと挑戦。 真っ直ぐに対応、対処。



新年1月1日元旦に発災した「能登半島地震」により、犠牲となられた方々に対し、衷心よりお悔み申し上げますとともに、被災された皆様に対して謹んでお見舞い申し上げます。被災された皆様の生活が一日も早く平穏に戻ることをお祈り申し上げます。

初当選させていただいてから、はや9ヶ月が経ちました。昨年9月の定例会において、初の一般質問を行い、続いて12月の定例会でも登壇させていただきました。これからの街を考え、人材不足への対応、医療、介護、福祉関連の事業所や人材に対するサポート、地産産業振興に向けた取り組みなど、皆様から寄せられた課題を質問いたしました。一朝一夕に制度や仕組みが変わることは容易ではないですが、先を見据えて布石を打つことはとても重要なことだと考えます。

これからも、皆様の期待に応えるべく、地域のために一生懸命努力してまいります。また、今後さまざまな困難や課題に直面するかと思いますが、それらに対しても、これまでの経験を活かし真っすぐに取り組んでまいります。今後とも、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げますようお願いいたします。



次回
6月 定例会
県民クラブ代表質問で登壇(予定)
県政一般・施政方針課題について

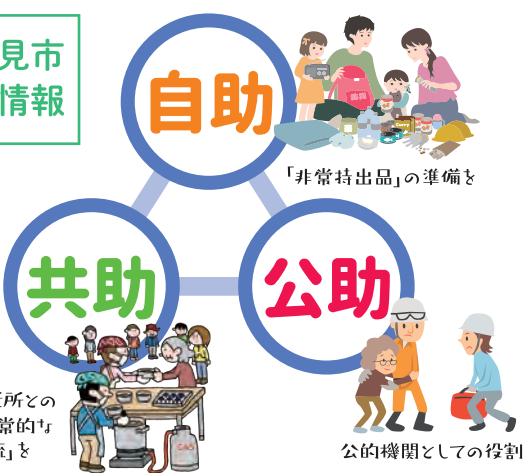


岐阜県議会
令和5年第5回定例会
一般質問

災害から命を守る岐阜県民運動

YouTube 災害から命を守る岐阜県民運動
LINE 岐阜県公式防災アカウント

多治見市 防災情報
緊急メール
防災アプリ
防災TOP



過去の多くの災害を経験する中で、「自助」、「共助」、「公助」という三つの主要な対応方法が、被害の最小化と迅速な復旧・復興に不可欠であることが明らかになってきました。

「自助」は、個人や家族が自分たちの安全を確保するための行動を指し、「共助」は地域コミュニティや近隣住民が互いに支援し合うこと、そして「公助」は政府や公的機関による支援を意味します。さらに、災害時の避難方法は多様化しており、避難所への避難だけでなく、在宅避難や縁故避難など、一人ひとりに適した行動が重要視されています。このような自助、共助、公助の組み合わせと、多様な避難方法の採用は、災害発生時の対応効率を高め、より良い結果をもたらすことが期待されています。

「自助」の行動と、「共助」、「公助」の連携・協力が必要

福祉人材の確保・資質向上について



質問 1-1

福祉人材の不足がみられる中、職業紹介において求職者と求人者のマッチング率の向上や、就職フェアへの出展など、さらなる求人活動が必要と考えますが、福祉人材の就職者数の増加に向けてどのように取り組むのか

答弁 健康福祉部長

県では、福祉人材確保の拠点施設として「県福祉人材総合支援センター」を設置し、様々な施策を展開しています。令和4年度には、キャリア支援専門員による無料職業紹介により、106名の採用につながったほか、各圏域において、事業者が求職者と直接面談して福祉の仕事やその魅力を伝える「福祉のお仕事フェア」を開催し、41名の就職に至っています。さらには、県外で大学生を対象とした就職説明会も開催しています。

また、子どもや若者たちに福祉の仕事の魅力を伝えるため、県内の中学・高校・大学を訪問し、啓発活動を行っております。

こうした取組みをさらに強化するため、今後は市町村が開催する就職フェアにおいても、多くの事業者が参加できるように市町村と事業者の双方に働きかけ、マッチングの場の拡大に努めてまいります。

一方、職場を紹介したものの就職に至らなかったケースについては、求職者へのアンケートなどにより原因を分析し、今後の活動に活かしてまいります。

ここがポイント

介護や障害福祉サービスの需要増に対応するため、福祉人材不足には就職支援を通じた対策が求められます。

質問 1-2

介護職員の人材確保や資質向上に向けた支援では、職員の研修受講や事業者等が行う研修開催、さらには職場以外への研修受講の際の代替職員確保への支援なども行われていますが、障害福祉サービスに携わる人材確保・資質向上に向け、今後どのように取り組むのか

答弁 健康福祉部長

県では、障害福祉サービスの人材不足に対して、「確保」「育成」に加えて、「定着」の3つの観点から施策を展開しています。

まず「確保」としては、先ほど答弁申し上げました人材確保策に加え、SNSを活用して福祉の仕事のイメージアップを図るための情報発信なども行っております。

次に「育成」として、相談支援専門員等の資格取得のための研修や、強度行動障がいのある方の特性を理解し状況に応じた適切な支援を行うための研修など、キャリアアップや資質向上に向けた取組みを進めています。

最後の「定着」では、風通しの良い職場環境づくりのほか、今年度からは、職員の賃金改善に向け、サービス報酬の処遇改善加算等の取得を目指す事業者向けの研修を実施しております。また、職員の負担軽減や業務効率化のため、ICT機器や介護ロボットの導入を推進しております。今後も、現場のニーズを捉えたきめ細やかな支援に取り組んでまいります。

ここがポイント

障害福祉サービスの向上のため、職員の専門研修強化と心理的サポートの充実が重要になります。

県立多治見病院の看護職員の確保・離職防止について

質問 2

新中央診療棟の開設を控えている中で、看護職員のさらなる確保・離職防止に向けて、取り組みを強化すべきと考えますが、どのように取り組むのか

答弁 健康福祉部長

県立多治見病院における看護職員の離職率は、ここ3年ほど全国平均並みの約10%に上昇しており、かつ退職者数に見合う新規採用ができず、職員数が減少傾向にあります。このため病院では、今年度から、看護職員の早期確保に向けた採用試験の日程前倒しのほか、9月から、就職準備資金貸付額を10万円から50万円に増額するなど順次対策を講じております。加えて来年度からは、病院で一定期間勤務すると返還免除となる修学資金についても月額3万円から5万円に増額すると伺っています。

また処遇改善策として今年度新たに導入した夜間看護割増手当や、看護師業務の他職種へのタスクシフトといった離職防止対策の効果が徐々に表れており、病院からは新人を含め退職希望者の減少が見込まれるとともに、現場職員からは新人への指導等がゆとりが持てるようになったという前向きな意見もあつたと聞いています。

設立団体である県としても、引き続き病院のこうした取組みをサポートしてまいります。



ここがポイント

県立多治見病院は、岐阜県、東濃・可茂地域における医療や健康政策の拠点として重要な役割を果たしています。

救急電話相談について (利用状況と周知啓発)

令和5年10月1日から新たにスタートした救急電話相談「救急安心センターぎふ」#7119を広く全県民にスピード感を持って周知すべきではないかと考えますが、これまでの利用状況を踏まえ、どのように周知啓発に取り組むのか

答弁
健康福祉部長



「救急安心センターぎふ#7119」は、救急要請を躊躇している隠れた重症者の発見のほか、適正な救急車の利用及び救急医療機関の受診を目的とする事業です。令和5年9月までは岐阜市消防本部において、管内4市1町で実施されていましたが、10月1日から全市町村と県が実施主体となり、県下全域での運用を開始しました。

10月の相談件数は1,899件、うち救急車を呼ぶよう誘導した件数は134件でした。開始直後の1か月の数字ではありますが、**急な病気や怪我になられた方の救命措置や不安の解消につながったものと考えております。**

一方、**一般の運用拡大により、対象となる人口は約4倍となりましたが、相談件数は、従来実施していた4市1町が43%を占めており、県全体への周知が課題です。**

このため、今後も、**県下全域でポスターやカードの作成・配布、商業施設での店内放送、市町村広報誌への掲載など、各種広報媒体による周知を繰り返し、返すことで、県民への浸透を図ってまいります。**

ここがポイント

判断に迷ったとき、**専門家からアドバイスを受けることができる電話相談窓口**です。



・小児救急電話相談 (#8000)

子どもの急な病気やけがの際、家庭での対処方法や医療機関を受診すべきかどうかなどを相談できる専用電話。



・救急安心センターぎふ (#7119)

救急車を呼ぶか判断に迷った際、看護師等による24時間体制で、急病やけがの際に迅速にアドバイスを提供する専用電話（緊急と思ったときはためらわず119番をしてください）



教育警察委員会

県外視察報告(令和5年11月8日〜10日)

兵庫県立阪神昆陽特別支援学校(兵庫県伊丹市)

この学校は、知的障害を持つ生徒のための特別支援学校です。同じ敷地内にある兵庫県立阪神昆陽高等学校と施設を共有し、両校の校長は兼任されています。校訓、校章、校歌制服も共通で、障害のある生徒とない生徒の相互交流が促進されています。この学校は、「インクルーシブな学校運営モデル」としても知られており、共同学習や生徒会活動を通じて、障害のある生徒とない生徒の交流を深めています。

高知県立高知国際中学校・高等学校
(高知県高知市)

この学校は、国際的な視野を持つ人材の育成を目的とする中高一貫教育校です。平成30年に中学部が令和3年に高等部が開校し、国際バカロレア認定校となり、中学では英語を母語とする教員による授業やICTを活用した学習を実施しています。高等部では、普通科とグローバル科を設置し、探究型学習や国際会議での研究発表を行っています。また、令和3年には県内初の中学校夜間学級を開設しました。

愛媛県警察本部(愛媛県松山市)

サイバー犯罪対策課を設置し、サイバー犯罪の取り締まりや被害防止活動に取り組んでいます。また、移動交番も運用しています。これは、県内のさまざまな場所で警察の存在を示し、地域の安全と安心を提供するためのものです。移動交番は、地域住民とのコミュニケーションを促進し、犯罪の予防や情報収集に貢献する重要な役割を担っています。これらの取り組みは、愛媛県警察の地域密着型の警察活動を反映しており、住民の安全確保に効果的に貢献しています。



愛媛県教育委員会
(愛媛県松山市)

愛媛県教育委員会が導入した「えひめICT学習支援システム」は、コンピュータを使用したテストのプラットフォームとして機能しています。このシステムは、愛媛県内のすべての公立学校(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)で利用可能であり、テストの作成、実施、そして結果の即時の採点・集計・分析が可能です。また、このシステムには、教員が自作した「良問」を共有する機能も含まれています。著作権などを精査した上で、他の教員との共有が可能になっています。これは、教育現場における質の高い問題を共有し、学習効果を高める全国的にも先進的な取り組みです。



FC今治高等学校里山校(愛媛県今治市)
(今治里山スタジアム)

この学校は、サッカー元日本代表監督であり、FC今治の会長でもある岡田武史氏が学園長を務め、令和6年4月に開校予定です。次世代のリーダー育成を教育方針に掲げ、FC今治との連携を通じた体験学習や、トップアスリートやアーティストを招いた授業など、独自のカリキュラムが特徴です。また、「ヒストリックキャプテンシップ」を持ったリーダーの育成を目指し、生徒一人ひとりの主体性を引き出すために実学・実践を重視したカリキュラムが特徴です。



県のイベントや県有施設への視察・PR 市道・県道・河川など、安全対策中。



第22区
清掃活動に参加



廿原町県道雨水対策



高田川除草対応



西山町道路脇
法面崩れ対応



根本町
グレーチング側溝蓋対応



姫町県道雨水対策

地域の安全、
ふれあいを大切に！



平和町通学路
安全対策(除草)

はんじ康信の 一生懸命!



栄町交差点
安全対策(除草)



各種美術展視察



岐阜県農業フェスティバルに参加



地域行事にて挨拶



東濃支援学校
学校祭視察



ポーランド国立民族合唱舞踊団
「シロンスク」公演に参加

年末交通安全 運動へ参加



たじみ健康マラソン
成田市議と一緒に参加



連合岐阜街宣活動に参加



国民文化祭2024
県民運動スタート宣言

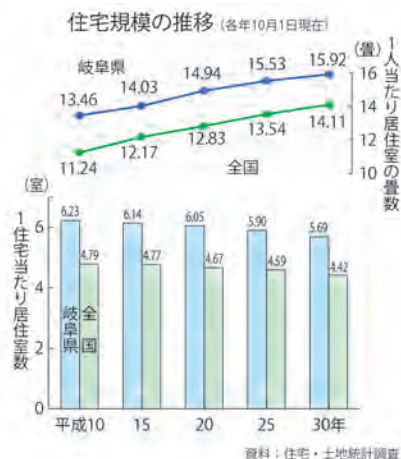


都道府県議会議員
研究交流大会に参加

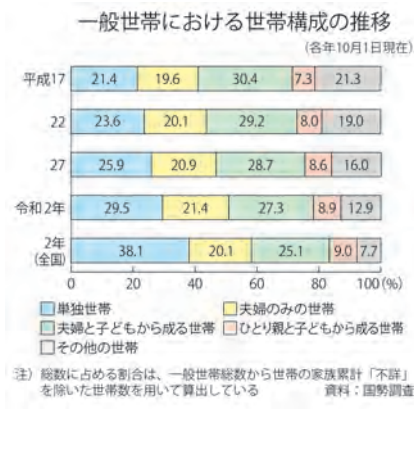


福祉委員としてイベントに参加

●1住宅当たりの居住室数及び1人当たりの居住室の畳数は、全国平均を上回っている



●令和2年10月1日現在の一般世帯における1世帯当たり人員は2.49人と全国平均2.21人を上回っている



近年は全世帯に占める単独世帯の割合が拡大傾向にある。

知ってほしい
私たちの
現在の岐阜県



判治康信事務所

〒507-0065 岐阜県多治見市根本町11-64-1
Mail.info@y-hanji.com



日頃の
活動を
公開中



編集後記：今年は年男。元日のおみくじは「大吉」。年始からギックリ腰と足の小指の怪我。皆さんもお気を付けて。